

流域治水『砂防』とは

令和5年6月時点

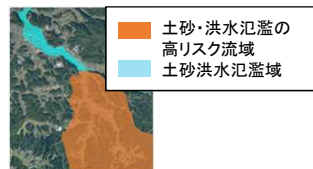
- 流域治水とは流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方であり、
同様に流域治水『砂防』とはあらゆる関係者が協働して土砂災害対策を行う考え方である。

人工衛星を活用した土砂移動把握



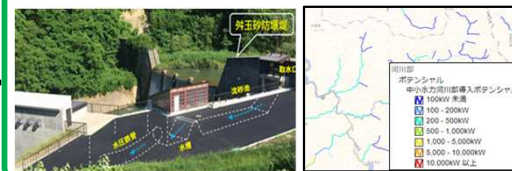
衛星による観測から取得した情報の活用イメージ

土砂・洪水氾濫対策の推進 (河川事業との連携)



土砂や流木を効果的に捕捉できる施設整備

GXSABOプロジェクト(小水力発電)



発電ポテンシャルの公表と発電事業者の公募による小水力発電推進

総合土砂管理の推進(ダム・河川・海岸連携)



林野事業と連携した流木対策の推進 (流域流木対策)

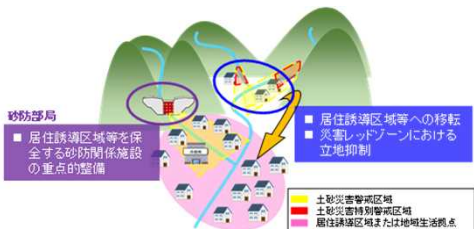


砂防事業による捕捉



林野事業による森林整備

防災まちづくりと連携した土砂災害対策



災害レッドゾーンにおける立地抑制等の災害リスク回避と砂防関係施設の重点整備を組み合わせた対策を推進。

警戒避難体制の構築支援



ハザードマップの作成、避難訓練など、警戒避難体制の整備等を支援。

保全対象を中心に、「まちづくり・河川・林野部局、民間事業者、市民」などあらゆる関係者と連携し、安心安全でにぎわいのある居住空間を創出するのが流域治水『砂防』である。

GXSABOプロジェクト(グリーンインフラ)



地域住民とも連携した良好な樹林整備を実施



ダイナミックSABOプロジェクト (防災啓発)



砂防施設を防災啓発、さらには地域活性化の資源として活用